

講義名	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法【教職科目】			授業形態	
担当教員	池田 曜子 / 梨木 昭平		開講期・曜日・時間	前期集中 日曜日 その他	
	単位数	2	履修開始年次	2年生	ナンバリング・コード

主題と概要

本授業は、教科の時間以外の学校生活の持つ教育的意義について学ぶ。第一に学校活動・経営の意義を学び、第二に学校行事や生徒会活動などがどのように人間形成に影響を与えているのかその教育的役割を考察する。さらに、生徒指導が学級担任の実務経験が豊富な教員から現場の実態を提示することによって、現在の多様化する学校カリキュラムに留意しながら受講者は自分自身の学校生活について「ふりかえり」をし、人格形成にとって有意義な特別活動のあり方を考え、同時に教職に就くことを想定して、指導の方法を案案に考えていく。総合的な学習の時間の意義や指導法についても学ぶ。

到達目標

1. 特別活動の意義と概要を理解し、指導の考え方とあり方を考察できる
2. 特別活動の歴史、意義、目標、内容について理解できる
3. 生徒の実態や特別活動の身体例を題材に、指導や支援について考えることができる
4. 授業内で具体的経験や生徒指導主事の業務等の事例を素材として、受講者はレポート発表を行い、自らの考えや指導案を提示することができる
5. 総合的な学習の時間の意義とねらい、どのように指導できるかを学ぶことができる

提出課題

授業で小レポートや指導案発表の課題を課します。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

各授業時に提出していただいた課題内容について共有すべき内容や質問については、次の授業の初めにフィードバックを行う。

評価の基準

授業における小レポート(20%)、発表(30%)、試験(50%)

履修にあたっての注意・助言他

集中講義となるため、遅刻、欠席しないようにしてください。授業後、配布資料をもとに復習し、自己の理解程度を再確認しておく必要があります(不明点は、次回授業時に質問してください)

教科書

・「総合的学習」・「特別活動論」指導法	梨木 昭平	三恵社		9784866931388
---------------------	-------	-----	--	---------------

参考図書

その他

適宜授業で配布します。

授業計画

- 第1回：特別活動の特徴と意義(担当：池田)
 - 第2回：特別活動の変遷(担当：池田)
 - 第3回：特別活動の目標と内容(担当：池田)
 - 第4回：特別活動における人間関係形成(担当：池田)
 - 第5回：特別活動と学級経営(担当：池田)
 - 第6回：特別活動と組織的取り組み(担当：梨木)
 - 第7回：特別活動とキャリア教育、部活動(担当：梨木)
 - 第8回：特別活動の実践(1)：年間指導計画の作成(担当：梨木)
 - 第9回：特別活動の実践(2)：指導案の作成(担当：梨木)
 - 第10回：特別活動の実践(3)：模擬授業の実施と振り返り(担当：梨木)
 - 第11回：総合的な学習の時間の意義とねらい(担当：梨木)
 - 第12回：総合的な学習の時間の目標と内容(担当：梨木)
 - 第13回：総合的な学習の時間の実践(1)年間指導計画の作成(担当：梨木)
 - 第14回：総合的な学習の時間の実践(2)指導案の作成(担当：梨木)
 - 第15回：総合的な学習の時間の評価(担当：梨木)
- 定期試験

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
<input type="radio"/> ウ：ディスカッション、ディベート	<input type="radio"/> エ：グループワーク
<input type="radio"/> オ：プレゼンテーション	<input type="radio"/> カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

各授業に必要な資料を配付し説明を行います。
この資料を次回の授業までに熟読し、理解できない部分を明確にし、分からなかった部分について質問ができるようにしておいてください。(2時間)
さらに、授業で取り扱った内容は、授業後、配布資料をもとに復習し、自己の理解程度を再確認しておく必要があります。不明点は、次回授業時に質問してください。(2時間)

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

商学部マーケティング学科では、企業環境をマーケティングの視点で捉え、現状を改善する努力を継続することができる学生を育てます。
本授業でも、自ら考え、自ら判断し、主体的に行動することが求められます。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

双方向授業は実施しない。

実務経験の有無及び活用

備考
